

新学習指導要領の趣旨を活かした国語科授業の在り方



維孝館学園 宇治田原町立田原小学校

研究背景

本校の教育目標である「人を大切に つながり 力をつくす 未来を生き抜く田原っ子」の理念のもと、本校児童には、様々な課題に積極的に向き合うために必要な資質・能力を身に付けさせたい。

国語科は言語能力の中心的な役割を担う教科である。しかし、日本語を第一言語にする児童にとっては何となく読みを進めることが可能である。しかし、この読み方では様々な課題に向き合うための資質や能力が身に付くことはない。これらの力は知識や技能を思考と結び付ける活動の繰り返しによって身に付き、これは新学習指導要領の趣旨とも捉えることができる。

そこで、本研究では「新学習指導要領の趣旨を活かした国語科授業の在り方」について検証することを目的とした。

研究概要

【令和元年度】

主体的に取り組む態度

田原小
学びのサイクル

【主体的な児童の明確化】

- ・自身の興味を高める姿
- ・課題解決の見通しを持ち、自分の知識や経験と結び付ける思考活動をする姿
- ・自らの課題克服のために粘り強く取り組む姿

知識・技能の
捉え直し

言語能力の獲得

指導と評価の
一体化
(ルーブリック)

学びの深化

螺旋的・反復的

【令和3年度】

知識・技能

【令和2年度】

思考力・判断力・表現力

【思考を支える用語・用法の活用】

説明的な文章及び文学的な
文章で扱う用語・用法の整理



教員間での共有及び系統的指導

思考を支える
用語・用法

論理的な思考活動の基盤



タブレットを主軸にした
ICT機器の利活用

【思考力の育成場面の明確化】

- ・単元構成の工夫
- ・友達との協働
- ・思考ツールの活用
- ・価値ある問い
- ・全文シートの活用

パフォーマンス課題

追究すべき問いの形成

系統的・段階的

田原小全体の取組

特別活動部
学力充実部

異学年で学習を楽しむ環境
スタディルームの充実
多様な人とのつながり

温もりある学級
協働的な学び
個別最適な学び

生徒指導部
特別支援教育部

研究仮説

新学習指導要領解説(平成29年度告示)では、国語科において育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し表現する言語能力」と位置付けている。本研究では、「正確に理解すること」の基盤にあたるものを用語・用法と捉え、それらを児童に系統的に習得・活用させることで、読みを論理的に表現する言語能力が身に付いていくという仮説を立てた。この仮説をもとに研究を進め、「新学習指導要領の趣旨を活かした国語科授業の在り方」を提案していきたい。